

診断ひろしま

巻頭のことば（挨拶・祝辞）

TOPICS - 通常総会報告

実務補習受講報告／新入会員紹介



経営コンサルタント唯一の国家資格「中小企業診断士」が
広島の中企業の振興と地域経済の健全な発展のお手伝いをいたします



一般社団法人 広島県中小企業診断協会

www.hiro-smeca.jp

CONTENTS

診断ひろしま 目次 2024 年新年度号



一般社団法人
広島県中小企業診断協会



表紙写真：
サッカースタジアム
「エディオンピースウイング広島」

撮影：小寺 崇之

2024 年 2 月開場。日本初の“まちなかスタジアム”。敷地面積約 49,900 m²、収容人数約 28,500 人。翼をイメージした屋根が特徴的で、365 日のにぎわいを作ることを目指しています。

03 巻頭のことば 新年度のご挨拶

中小企業・小規模事業者の
多面的な支援ニーズへの的確な対応力の強化 会長 井上 明雄 03

成長型経済への転換に向けて 中国経済産業局 産業部 中小企業課長 石田 稔 04

新年度の事業活動の推進に向けて
広島県 商工労働局 経営革新課 担当課長（機動的経済支援担当） 森川 祐司 05

06 TOPICS

通常総会報告／新年度組織表

08 実務補習 受講報告

令和 5 年度 冬季/5 日間コース 第 5 班（自転車小売店） 中村 宇雄 08
第 6 班（卸売業） 中本 達久 10

12 診断士コミュニティ

随筆・見聞録 2024 年に行くべき場所 山口市 ----- 白澤 守 12
書評 逆・タイムマシン経営論 ----- 伊垣 洋介 13
リレー訪問記 藤川 裕志 氏 ----- 塩田 睦大 14
新入会員紹介 掲載 7 名（嘉本 雄太、川口 明彦、土居 誠、
丸岡 良博、宮坂 夕貴、森岡 進太郎、山本 浩章） ----- 16
おすすめのお店・企業紹介 vol.5 株式会社 大進創寫館
振袖ブランド「FURICO」 ----- 田村 雅紀 20

22 令和 6 年 グループ研究会 研究成果発表会のお知らせ

23 中小企業経営者・中小企業支援機関ご担当者さまへ（ご依頼・ご相談承り中）

活動計画 / 報告

研究会
リスクマネジメント研究会 24
企業内診断士の会 25
委員会
総務委員会 26
広報委員会 27

委員会
試験委員会 28
診断実務委員会 29
更新研修委員会 30
会員研修委員会 31
グループ研究委員会 32

年間主要行事日程 33

事務局からの
お知らせ 34

編集後記
協会会員数 裏表紙

2024

新年度号

巻頭のことは
新年度のご挨拶

中小企業・小規模事業者の 多面的な支援ニーズへの 的確な対応力の強化



会長 井上 明雄

日本経済は、2020年からの新型コロナ禍の中での感染拡大防止と経済の活性化を図ってきたウィズコロナの3年間から脱しアフターコロナに移行するとともにデフレ脱却も視野に入ってきている。

日本銀行の「経済・物価情勢の展望」では、企業全体の傾向として、「輸出や生産は、海外経済が緩やかに成長していくにつれて増加基調に復し、サービス輸出であるインバウンド需要は増加を続ける。企業収益は、内外需要が緩やかに増加していくもとで、改善傾向をたどる。設備投資は、緩和的な金融環境が下支えとなるなか、人手不足対応やデジタル関連の投資、成長分野・脱炭素化関連の研究開発投資、サプライチェーンの強靱化に向けた投資を含め、増加傾向を続けると考えられる」との見通しを示している。

そのなかで、中小企業・小規模事業者においては、原油・原材料をはじめ諸物価の高騰、人手不足の状況は依然として続いており、さらに2024年問題という労働時間の上限規制が施行され、物流、建設、医療等、一部の業界の問題にとどまらず、市民生活を含めた地域経済に大きな影響が及ぶことが懸念されている。また、ゼロゼロ融資の問題にも継続した対応が必要になっている。

このような経営環境変化への対応に加え、中小企業・小規模事業者は、その維持・存続・成長に向け、DX、GX（グリーントランスフォーメーション）、カーボンニュートラル、SDGs、ESG、BCP・事業継続力強化、パーパス経営などの多様な取り組みを推進し、経営力を総合的に向上させて

いくことが求められている。

中小企業・小規模事業者にも、その事業規模に応じた経営力強化に向け、多面的な取り組みに対する支援ニーズが高まっている。

2023年の中小企業診断士1次試験の受験申込者数は、これまでの最多となる約26,000名であった。資格人気の背景には、副業の認可や奨励、リスキリング・ブーム、また、人気ナンバーワンとかAIに置き換わらない資格というようなネット上の評価や口コミの広がりなどがあると思われるが、中小企業庁は、受験者数増加の根本的な要因を前述の「多面的な支援ニーズの高まり」とみている。

「多面的な支援ニーズ」に応えられるのは、経営の原理・原則を熟知し、さらに多様な専門分野のスキルを身に着けた中小企業診断士だけである。中小企業診断士には、中小企業・小規模事業者に寄り添う伴走支援者として、これまで以上に新たな知識の習得、情報収集の強化、それらを活用した幅広い対応力を継続的に向上させていくことの重要性が高まっている。

広島県中小企業診断協会は、「中小企業経営に寄り添い、共に考え、共に歩み、より良い方向へ導くパートナーとして中小企業の成長・発展、地域経済の振興に貢献する」をパーパスとして掲げ、会員一人一人の対応力の向上とともに、相互連携による「多面的な支援ニーズ」への的確な対応力の強化を進めていく。

成長型経済への 転換に向けて

中国経済産業局 産業部 中小企業課長 石田 稔



一般社団法人広島県中小企業診断協会及び会員の皆様方におかれましては、平素から経済産業行政の推進にあたりまして多大なる御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、経済活動の正常化が進みました。一方で、エネルギー・原材料価格の高騰や円安等による物価高、深刻化する人手不足、賃上げや脱炭素化への対応等、企業は多くの課題に直面しています。これらの様々な経営課題を乗り越えて事業を成長させるためには、日本の雇用の7割、付加価値の5割以上を占める中小企業・小規模事業者の方々を起点として、投資、イノベーション、所得向上の3つの好循環を実現していくことが必要です。

今年の春闘では、大手企業を中心に高い水準の賃上げの回答が相次いだように全国的に賃上げの動きが広がっております。今はまさに「コストカット型経済」から「投資も賃金も物価も伸びる成長型経済」へ転換するための重要な時期となっております。特に、持続的な成長・賃上げを実現するためには、「価格転嫁の強力な推進」「生産性向上」「省力化投資」の3つが肝要です。

価格転嫁については、公正取引委員会と連携し、年2回の「価格交渉促進月間」とフォローアップ調査、下請けGメンによるヒアリングを踏まえた指導・助言の実施等により、交渉と転嫁が継続的に行われる取引慣行の定着を目指します。また、皆様が創出した価値に適切な対価が支払われるよう、サプライチェーン全体の共存共栄を目指すパートナーシップ構築宣言の拡大や実効性の向上を進めます。受注企業の皆様は昨年11月末に内閣官房と公正取引委員会から示されました「労務費の指針」等の活用により、価格交渉を進めていただければと考えています。

5月に公表された2024年版中小企業白書では、

就業者数の増加が見込めない中で、日本の国際競争力を維持するためには、中小企業の生産性の引き上げが必要、生産性の向上のためには、省力化投資や単価の引上げを追求する必要があるとの分析が行われています。このため、経済産業省では、生産性向上を後押しするため、IoT、ロボット等の人手不足解消に効果がある汎用製品をカタログから選べる「省力化投資補助事業」を実施します。簡易で即効性がある省力化投資を促進し、中小企業等の付加価値額や生産性向上を図るとともに、これを賃上げにつなげていくことを目的としています。

これらの3つの施策に加えて、「賃上げ促進税制」を拡充しました。税額控除率を最大45%にするとともに、赤字など厳しい状況にあっても、賃上げに取り組んでいた皆様が控除しきれなかった金額を翌年度以降に繰り越せる仕組みを作り、その期間を前例のない長期となる5年間としています。これにより、裾野の広い賃上げの実現につながると期待しています。

一方で、持続的な成長・賃上げには資金繰り支援をはじめとした事業継続の下支えも必要です。中小企業の資金繰りは引き続き厳しい状況にありますが、コロナ資金繰り支援を6月末まで延長するとともに、7月以降はコロナ前の支援水準に戻しつつ、経営改善・再生支援に重点を置いた資金繰り支援を行ってまいります。

今後、中小企業・小規模事業者の様々な経営課題に向き合っていただく中小企業診断士の皆様の役割は、より一層重要になってくると考えております。広島県中小企業診断協会及び会員の皆様におかれましては、将来に向けて果敢にチャレンジしようとする事業者に寄り添っていただきますようお願い申し上げますとともに、貴会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念いたします。

新年度の事業活動の 推進に向けて

広島県 商工労働局 経営革新課 担当課長
(機動的経済支援担当) 森川 祐司



一般社団法人広島県中小企業診断協会の令和6年度通常総会を滞りなく終えられ、新年度の施策方針と重点施策の下で事業活動に取り組まれることを心からお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和34年の設立以来60年以上にわたり、国家資格である中小企業診断士相互の連携と資質の向上に努められ、本県の中小企業の発展や地域経済の振興に寄与されております。

広島県では、一昨年度から、アフターコロナを見据え、経営革新に取り組む意欲的な事業者を支援するため、新事業展開のための設備投資等に要する費用の一部を補助する「アフターコロナ対応経営革新推進補助事業」を実施し、令和4年度32者、令和5年度41者に助成を行い、事業者の経営基盤強化に繋げることができました。実施に当たり、貴協会の皆様には大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。

さて、本県経済は、G7サミットの後押しもあり、インバウンドを含む観光、宿泊を中心にコロナ禍前の水準に戻りつつあり、また、製造業におきましても供給制約の緩和により生産が持ち直した状態があるなど、県内景気は緩やかに回復しております。

一方で、引き続き、米国の金融引き締めによる円安の影響や、中国経済の先行きが懸念されるなど、海外景気の下振れが景気の下押しリスクとなっており、物価上昇、中東地域をめぐる情勢などを含め、県内の経済金融情勢及び回復のペースに与える影響を一層注視していく必要があります。

また、長く続いたコロナ禍は、私たちの価値観や生活様式に大きな変化をもたらしました。IoT

やAIといったデジタル技術の進展や、世界的な脱炭素の動き、働き方改革、そして足下のエネルギー価格の高騰や人手不足などにより、地方を取り巻く経済環境は大きく変化し、そのスピードは加速しつつあります。

こうした中、広島県は、今年度をデフレから完全に脱却して、賃金と物価が好循環を描き、経済の体温が上がってイノベーションが活発化する経済に移行する転換点とするため、物価高騰対策をはじめ、人口減少や人手不足などの課題への対応、広島県の総合計画である『安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン』の取組を加速させることで、県民や事業者の皆様と共に広島発で賃金と物価の好循環を起こし、経済の正のスパイラルを実現してまいります。

そのためにも、中小企業の生産性向上は不可欠です。広島県としても、人口減少や人手不足などの課題を克服するために、新たな設備投資や、デジタル・AIといった新しい技術やアイデアを積極的に活用したDXの推進、人への投資などをしっかり後押しし、地域経済の飛躍へとつなげてまいります。

中小企業診断士は、中小企業の経営課題に対応する身近な専門家として経営の診断や助言を行うだけでなく、中小企業と行政を繋ぐ架け橋として、中小企業施策の適切な活用支援などの幅広い活躍を期待されております。

貴協会におかれましても、国の指定法人として中小企業診断士制度の更なる発展に御尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様の益々の御発展と御健勝を祈念いたします。

令和 6 年度通常総会 報告

総務委員長 田村 善光

令和 6 年 5 月 18 日（土）16 時よりメルパーク広島の瑞雲において
会場とリモート併用のハイブリッドで通常総会を開催した。
井上議長が進行し、3 議案は承認可決された。

令和 6 年 5 月 18 日（土）16 時よりメルパーク
広島の瑞雲において会場とリモート併用のハイ
ブリッドで開催した。

井上会長の総会開始にあたっての挨拶の後に、
会場出席者 50 名、リモート出席者 6 名、表決権
行使 72 名、合計 128 名で、総正会員及び名誉会
員の総数 204 名の過半数を超え定足数を超えて
おり総会が成立したことを確認した。

井上議長により総会が進行した。

まず、議事録署名人を古川 佐千夫会員と岩田
潤一会員に決定した。

次に、第 1 号議案の令和 5 年度事業報告を井
上会長が、令和 5 年度正味財産増減計算書・貸
借対照表を谷本事務局長が、監査報告を岩井屋
監事が説明し、第 1 号議案の承認を得た。

次に、第 2 号議案の令和 6 年度事業計画を井
上会長が、令和 6 年度正味財産増減予算書を谷
本事務局長が説明し、第 2 議案の承認を得た。

次に、第 3 号議案の役員を選任について井上
会長が趣旨説明と理事・監事候補者名を読み上
げ、第 3 議案の承認を得た。

これをもって、令和 6 年度総会が終了した。

その後、新理事・新監事が別室に移動し、新会
長（井上 明雄）・新副会長（岡 佳弘、小寺 崇
之、大村 貞之）を推薦し決定した。そして、総
会会場にて、新会長の井上会長から就任挨拶が
あった。

引き続き、中小企業診断協会の表彰者として、
落野 洋一会員、小寺 崇之会員、河尻 慶子会員、
小松 幹昇会員、柴田 憲行会員、中森 浩二会員
の 6 名が表彰された。そして、会場に出席して
いた落野 洋一会員、小寺 崇之会員の 2 名の方
に井上会長から表彰状と記念品が授与された。



総会の後、17 時 30 分よりメルパーク広島の
瑞雲において懇親会が開催された。司会は宮坂
夕貴会員が行った。

15 名のご来賓の参加を頂き、井上会長の挨拶
の後に、中国経済産業局産業部中小企業課長
石田 稔様と広島県商工労働局経営革新課担当
課長 森川 祐司様からお言葉を頂き、中小企業
基盤整備機構中国本部企画調整審議役 鈴木 健
一郎様による乾杯が行われた。また、新たに広島
県中小企業診断協会に入会した 8 名の会員と 2
名の特別会員が自己紹介を行った。

令和6年度 役員・委員名

役員	代表理事 / 会長	井上 明雄		
	副会長	大村 貞之	岡 佳弘	小寺 崇之
	理事	岩田 潤一	落野 洋一	金田 賢二
		上垣内 邦典	木村 義洋	黒川 睦郎
		田村 善光	古川 佐千夫	
監事	岩井屋 忠昭	松浦 由浩		

顧問	顧問	江川 雅典
----	----	-------

委員	委員会	委員長	副委員長	委員	
	総務委員会	田村 善光	渡辺 敏明	岩崎 美友紀 中尾 友和 廣岡 雅史	小野 信雄 濱上 敬介 松浦 和夫
広報委員会	古川 佐千夫	本庄 恭子	青谷 智晃 三本木 至宏 原 信之介	伊垣 洋介 田村 雅紀	
試験委員会	木村 義洋	松浦 由浩	岩井屋 忠昭 馬上 元彦 藤原 貴徳 渡部 宗広	植田 昌子 梅木 雄司 牧野 恵美子	
診断実務委員会	落野 洋一	—	佐伯 昌之	野崎 義博	
更新研修委員会	金田 賢二	塩田 睦大	藤川 裕志 森島 重樹	宮坂 夕貴	
会員研修委員会	上垣内 邦典	—	伊藤 大介 藤川 裕志	大島 季子 山口 卓	
グループ研究委員会	岩田 潤一	鉄本 一生	市岡 沙有理 岡本 志朗 西村 賢志	伊藤 圭介 棚田 勇作 益野 実	

事務局	事務局長	谷本 俊満	事務局主任	村戸 望佐
-----	------	-------	-------	-------

(R6. 7. 6 現在)

実務補習 受講報告①

令和5年度 冬季/5日間コース 第5班 受講報告



実務補習受講生：立木 淳之介、好永 裕一、
岸田 拓真、安村 匡史、中村 宇雄（文責）

1. はじめに

令和6年2月2日から2月13日まで、江川 雅典先生のご指導のもと、年齢も職業もバラバラなメンバー5人が実務補習に取り組んだ。

実務補習3回目が1人（班長）、4人は初めての
の実務補習であった。

2. 診断先企業の概要

診断先企業の業種は「自転車小売業」であり、3代目社長が経営を担っていた。これまで、地域に密着した自転車店として、社長が相当程度プレイヤーの役割を果たしていたが、新店舗の出店で常時2店舗体制となることから、マネジメントの視点を取り入れ、社長が経営にある程度

専念できる体制が求められる状況であった。同時に、社長と従業員の一体感の醸成や、新規顧客獲得、利益率の高い自転車修理事業を伸ばすために施策、さらには、売上だけではなく利益も重視した財務施策が必要な状況であった。

3. 実務補習の状況（1、2日目）

初日は診断先企業に赴き、ヒアリングを行った。事前学習において、財務分析などは行っていたが、社長の問題意識などが不明だったため、ヒアリングにおいては社長の思いや達成したいこと、課題認識を重点的に伺った。

ヒアリング後、チームでのディスカッションの結果、社長の「従業員と地域に愛される会社になる」という強い思いを経営戦略及び各パートでの戦術（人事・労務、販売・修理、情報、財務・

会計）でどのように実現するかに焦点をあてて報告書を書くことに決まった。

この段階において、メンバー間で共通認識を持たせたことが自宅学習期間中の執筆作業のやりやすさにつながった。また、後になってわかったことだが、この段階での共通認識は、筋の通った診断報告書を書くためにも重要だと感じた。

4. 実務補習の状況（3、4日目）

自宅学習後、再びメンバーが集った3日目は、江川先生が途中段階で原稿を見ていただいたこともあり、完成形に近い状態の原稿を持ち寄ることができた。

各々が書いた原稿を他のメンバーがチェックする方法でブラッシュアップし、少しでも完成度を高め、社長の心に響く報告書にするべく、推

敲を重ねた。

4日目の朝の段階で、各パートの内容が固まった。その後、誤字脱字チェックをしたうえで、午後の早い段階には印刷が完了し、夕方をプレゼンテーション練習の時間にあてることができた。

5. 社長へのプレゼンテーション

5日目は社長を RCC 文化センターに招いて、プレゼンテーションを行った。各メンバーが20分の持ち時間の中で、最大限メッセージが伝わる工夫をした結果、社長の心に訴えかけるプレゼンができたのではないかと考えている。

特に、「社長と従業員が一体となるための人事施策と報酬制度」や「適切な在庫量の考え方」の

話などでは、大きくうなずいていただくなどのリアクションもあり、私たちとしても一定の手ごたえを感じられるものとなった。

また、プレゼン後には社長から熱心なご質問もいただき、最後には感謝の言葉をいただいて、プレゼンを終えることができた。

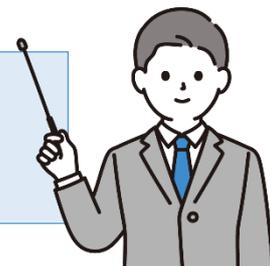
6. 実務補習の所感と御礼

ここまで、今回の実務補習がかなりスムーズにいったかのように書いてきたが、私も含め、各メンバーは苦勞を重ねながら執筆を行った。というのも、自転車小売店という業種自体には馴染みがあっても、ビジネスのあり方や、車種別の利益率など、初めて知ることも多かったためだ。しかし、様々なことを調べながら、そして仲間と協力しながら一つの報告書を完成させるというプロセスは、間違いなくメンバー全員のこれからの糧になった。私自身、班長（＝ファシリテ

ター）として議論の取りまとめを行った経験は、今後生きてくると考えている。

最後に、個人的な話になりますが、私の場合、3回の実務補習のうち2回を広島でお世話になりました。指導員の先生方からは、経営者への向き合い方や効果的な提言のポイントなど、多くの知識やノウハウをご教示いただき、改めて感謝申し上げます。いつの日か、先生方のような診断士になれることを目指し、これからも精進してまいりたいと思います。

地域密着の自転車小売店に、「社長と従業員が一体となるための人事施策と報酬制度」や「適切な在庫量の考え方」などを提案しました。



実務補習 受講報告②

令和5年度 冬季/5日間コース 第6班 受講報告

実務補習受講生：行事 義裕、出羽 恒平、
平尾 裕輔、小瀬木 晃、中本 達久（文責）



1. はじめに

令和6年2月2日から2月13日まで、田村善光先生のご指導のもと、金融機関、大手小売企業、印刷会社等、多様な業種からの5名のメン

バーにて実務補習に取り組んだ。1名は今回が2回目の実務補習で、残りの4名は初めての参加であった。

2. 診断先企業の概要

診断先企業は広島市内の「〇〇（※）卸売業」で、市場の縮小から売上が減少傾向にあったため、売上拡大が必要な状況であったが、喫緊では資金繰りの改善が一番の課題であった。

※同業種の社数が少ないため、診断先企業を特定できないよう伏せ字にしています。

3. 実務補習の状況（1、2日目）

研修初日までに各メンバーで前準備を行っていたが、ホームページや事前資料では〇〇（原材料）を扱っている会社ということまでしか分からず、業種区分が「〇〇卸売業」なのか「〇〇加工業」なのかという業種区分の擦り合わせからメンバーでの議論が始まった。業種もはっきりしない中でのヒアリングとなるため、質問事項は流動的になることも踏まえながら、必ず質問する項目を数個に絞ったうえでヒアリングに臨んだ。ヒアリングでは、会長・社長の両名にご参加いただき、とくに会長からは精力的な今後の

取り組み予定について教えていただいた。

ヒアリングのあとは、2日目の終わりまで診断チャートの作成に注力をした。ここでは言葉選びを含めて非常に丁寧に議論を行い、全員が納得するまで話し合いを行った。2日目が終わった時点では個人作業は一切行っていなかったが、診断チャートの作成に十分に時間をかけたことで各自が自主学習期間に行わなければならないことも明確になり、また、メンバー間でしっかりと方向性を共有することができていたため、最後まで提案の方向性がブレることはなかった。

4. 実務補習の状況（3～5日目）

自主学习期間中に、各自が作成した資料を田村先生に確認いただき、指摘事項に修正を加えたうえで3日目に臨んだため、その時点でもある程度の完成度であったと思うが、3日目はメンバー間で各担当の報告書内容をチェックして、文言や表現の指摘に留まらず、内容についても意見を出し合いブラッシュアップを行った。

とくに田村先生には、記載内容について、二次試験の解答のような文章では中小企業の経営者には理解がしづらく、また抽象的で実行に移すことができない、という助言をいただき、最終的にはその助言のおかげで、具体的でイメージがしやすい提案を行うことができた。

4日目は早々に印刷に入る予定であったが、より良い提案を求めて修正を重ねた結果、印刷が

完了したのが18時過ぎとなり、そこからのプレゼン練習となった。プレゼンは各メンバーとも非常にうまく、流暢なものであったが、田村先生からは「より伝えるべき点」「言葉にすべきではない点」などをご指摘いただき、より診断士らしい提案内容とすることができた。

5日目は診断先企業で報告を行い、会長は「社内で他の人にも見せたいから」とお渡しした資料には直接ペンを入れず、別紙に熱心にメモをとりながら聞いていただいた。最後には「ご提案いただいたことを取り入れて進めていく。ぜひ1、2年後にまた見てみてください。」という熱い言葉をいただき、喜びを感じるとともに、経営者のバイタリティの強さに感動させられた。

5. 御礼

この度の実務補習では、田村先生に大変お世話になった。診断先企業があまり一般的になじみのない業種であったこともあり、田村先生にも一緒になって議論を重ねさせていただき、その中で非常にたくさんの金言をいただいた。実際の実務経験に基づいたご助言は、診断士試験では得られるものではなく、診断士になるとはどういうことであるかも教示してくれるものであった。足を痛められているにも関わらず、連

日、部屋が閉まる時間まで熱心にご指導をいただき誠にありがとうございました。またこのメンバーで広島で集まれることを楽しみにしております。

最後に、多忙な時期に実務補習にご協力いただいた診断先企業の方々、協会の皆さま、「ちから」のうどんからつぼ焼きカレーキートンまで連日の広島グルメツアーにお付き合いいただいた全班員の方々に厚く御礼申し上げたい。



市場の縮小から売上減少傾向にあった卸売業に対して、提案をまとめました。経営者の方から「ご提案いただいたことを取り入れて進めていく。ぜひ1、2年後にまた見てみてください。」との熱い言葉を頂きました。



随筆・ 見聞録

2024年に行くべき場所 山口市

中小企業診断士 白澤 守

2024年1月にアメリカのニューヨーク・タイムズ紙が「2024年に行くべき52カ所」を発表し、世界各地の旅行先の中で山口市が3番目に選出された。このニュースを耳にしたとき、「あの山口市が！」と驚き、大変喜ばしく思った。大学4年間を山口市で過ごした私にとって、その魅力が世界中に認められたことに大きな喜びを感じた。

山口市の魅力は、自然、歴史、そして温かい人々が織り成す素晴らしい調和にある。ここでは、その一部を紹介したいと思う。

まずは、山口市で有名な観光スポットといえば、瑠璃光寺である。この寺院は、大内氏が建立した五重塔が有名で、山口市のシンボルとも言える存在である。五重塔は、日本三名塔の一つに数えられ、その美しい姿は四季折々の風景とともに訪れる人々を魅了している。特に春の桜や秋の紅葉の季節は、写真愛好家にとっても絶好の撮影スポットとなっている。しかし、残念ながら、現在は大規模改修中のため、2026年まで全景を見ることができない。2024年に訪れても見られないことが非常に残念である。

次に、昔ながらの街並みである。山口市には昔ながらの街並みが残っており、歴史的な建造物や風情ある街道を歩くことができる。特に、中心部には大内文化の影響を受けた建物が多く、散策するだけで昔にタイムスリップしたかのような気分を味わえる。

学生時代はデリバリーのアルバイトをしていたため、市内の様々な道を通っていた。山口城跡や湯田温泉周辺には、土蔵造りの古い商家や町家が軒を連ねており、路地裏に入るとこのような古い建物が健在していて、大通りとのギャッ

プに驚いた記憶がある。最近、山口市の中心部を訪ねたが、古い建物をリノベーションしたカフェや土産物屋が点在するようになり、若者を中心に、中心部を盛り上げていこうという機運が感じられた。



次に、山口市の夏の風物詩ともなっているホテルである。学生時代の下宿先付近の小川にもホテルが生息しており、帰り道の薄暮の空に舞うホテルの光に心を奪われた思い出がある。市内を流れる一の坂川でも、6月頃にホテルが舞う姿を見ることができ、ホテル祭りも開催されている。ホテルの光を追いかけながら歩く散策は、都会の喧騒を忘れさせてくれる特別な体験となる。

その他にも、中心部の湯田温泉は、美肌効果が期待できるアルカリ性単純泉で有名であり、落ち着いた温泉街の雰囲気の中で、地元の食材を使った料理や観光を楽しみながら心身ともに癒されることができる。

山口市は、観光公害に悩まされることが少ないため、ゆっくりとした時間を過ごすことができ、歴史、文化、自然、そして人々の温かさが魅力的な街となっている。ぜひ一度、山口市を訪れてみてほしい。



書評



逆・タイムマシン経営論

著者：楠木 健、杉浦 泰

出版社：日経 BP 社

発行日：2020/10/8

価格：2,420 円（税込）

中小企業診断士
伊垣 洋介

ビジネスの意思決定を狂わす罠として3つのトラップとトラップ作動のメカニズム、トラップ回避のステップを過去事例とともに紹介しており興味深い内容となっている

本書を手にとったのは著者である楠木 健先生の講演会に参加し、楠木先生の話に引き込まれた事がきっかけである。

本書は、過去（歴史）に学び、日々溢れる情報と付き合う際に「本質を見極める」という思考の型を提示しており、近視眼的な思考に流れがちなビジネスパーソンが長期視点を取り戻すうえで有効な示唆を与えてくれる。

私たちは、ネットニュース、テレビ、新聞、雑誌等で日々膨大な情報を目にする。旬の施策として「AI」、「DX」、「シェアリングエコノミー」というバズワード（流行り言葉）を頻繁に目にする。こうした旬の情報はもちろん意味はあるが、一方でその時代の偏った固定観念などステレオタイプのものの見方に侵されている。それにより、情報の受け手の思考や判断にもバイアスが掛かり、ビジネスの意思決定を狂わせる。

では、どうすれば、トラップに嵌らず、意思決定出来るのか？そういった悩みに対し、本書は情報と付き合う際の「思考の型」を提示してくれる。

本書は、高度経済成長期前後から2010年代までの「近過去」に遡って、当時のメディアの言説を振り返る事でその時代のノイズが洗い流されて、本質的な論理が姿を現すことを述べている。

何がニセモノの言説だったか浮かび上がるのを投資家ウォーレン・バフェットの格言を引用し「潮が引いた後でだれが裸で泳いでいたかが分かる」とあるが、流行りに飛びついた施策を行う

だけでは、トラップに嵌ってしまう。しっかりとした企業戦略の文脈（ストーリー）が必要であると説いている。

トラップが作動するメカニズムとして自社の戦略ストーリーを無視した施策（投資）を行う等の文脈剥離があるが、個別企業の経営から有用な知見を得るためには具体的事象をいったん抽象化し、更に自社の具体的な文脈に落とし込んで考えるという「具体→抽象→具体」の往復作業を行う必要がある。

そんなに面倒な作業を行わなくても、「やってみなはれ」という挑戦する勇気を持つ事の大切さを表す言葉もあるではないかという意見もあるかもしれないが、私の考察として、戦略を持たないで突き進むのは「無謀」であると思う。ビジョンを作り、戦略を立ててリスクをとって経営する。これは「勇気」ではないだろうか。

中小企業診断士としては、成功事例を参考に「具体→抽象→具体」の往復作業を支援し、戦略ストーリーを作る事に加え、意思決定をサポートしていく事で、各企業の成長の一助になると考える。

本書では、ビジネスの意思決定を狂わす罠として3つのトラップとトラップ作動のメカニズム、トラップ回避のステップを過去事例とともに紹介しており興味深い内容となっている。是非、本を手にとって近過去への知的旅行を楽しんでいただきたい。

診断士リレー訪問記



しおだ むつひろ
中小企業診断士 塩田 睦大



ふじかわ ひろし
中小企業診断士 藤川 裕志 氏



今回は「カープを科学する研究会」、「更新研修委員会」で、いつも大変お世話になっている藤川 裕志さんをご紹介します。現在のお仕事のことから今シーズンのカープのことまで、いろいろお尋ねしました。なかなか点の取れないカープに素晴らしい提言をお願いします。今回もカープファンの方必見です。



大学進学で広島を離れて、電機メーカー勤務にて長く兵庫、東京にて過ごしました。現在広島に戻り、マツダスタジアムにてカープの応援をして楽しんでいます。広島は、他地域とは違い、カープ関連の話題がスポーツニュースだけでなく、まちなかや生活の中にあふれています。サンフレッチェのまちなかスタジアムも開場し、広島スポーツは盛り上がっています。現在「カープを科学する研究会」で活動しており、広島の活性化と中小企業の業績向上のため活動していきたいと思えます。

Q1：今のようなお仕事をされているのか教えてください。

中小企業診断士として開業して、中小企業の経営支援を実施しています。公的な商工会議所、市他等の経営相談、経営診断等。民間では、経営改善の為の顧問サービス等、他補助金などの事業計画作成支援、申請支援等も実施しています。「カープを科学する研究会」でも活動中。

Q2：診断士を目指そうと思ったきっかけは何ですか？

電機メーカーにてエンジニアとして、半導体先端分野の製造技術研究、開発に従事していました。バブル崩壊、リーマン不況などにて事業採算悪化等により事業分離合併、新会社設立移籍などを経験しました。それまで技術的なことにしか興味を抱いていなかったが、経営関係分野

に興味が生じたこと。その後、事業企画部門に異動して、自部門の事業計画を作成、事業管理するようになったこと。またエンジニアの時の同僚が中小企業診断士の資格をとり、資格の内容等の話を聞き興味を抱いた事です。

Q3：ご自身の強みや活かしていこうと思うことは何ですか？

私の強みは、エンジニアの論理的思考を持ち、且つ事業企画での経験を活かした経営的数値管理を行う事で経営改善、PDCA 経営管理を行っていく事です。経営判断をあいまいな基準でなく、数値的に具体化して合理的な経営判断のできる事業別利益等管理会計的なしくみを構築していくことです。また、中小企業においても売上増加のために製造業でありながら、卸売業、設備工事等に非関連多角化進出したが、業績低迷時にどの事業が利益を一番出しているのかなど事業別

利益などの指標を判断できず、どの分野に注力するかを売上高のみに頼り、合理的に利益判断できていない事があります。このような会社に対して経営改善サービスを提供していきたい。また、ニューロビジネス研究会でも活動しており、中小企業の業績効率化などに最近注目のCHATGPTなど生成AI利用も必要と考えます。

Q4：支援の際に大切にしていることは何ですか？

経営者の事業に対する思いを聞くことです。我々コンサルタントは、経営者の事業へ抱く思いを実現するためにサポートすることが仕事であると考えます。経営者が得意な部分を自由にできるように、苦手な部分をサポートすることです。マーケティング理論などを教える事ではありません。コーチング的サポートで、共に事業改善活動を行います。

Q5：今シーズンこれまで（2024年6月中旬まで）のカープの戦いはどうですか。

経営資源としての人的観点から今シーズンを考えると、投手陣は整っています。しかし、打撃陣は長距離砲打者不足による得点力不足です。

先発投手陣では、床田、森下、アドゥワ、大瀬良、九里、ハッチ。中継ぎは、塹江、矢崎、黒原、森浦、8回島内、9回栗林。今年は、栗林が復帰して好調。ベテラン大瀬良のマツダ初ノーヒットノーランには感激です。

打撃陣では西川の抜けた穴をどう埋めていくか問題でしたが、期待の田村が今一歩。外国人による打撃強化のはずが、開幕早々故障による離脱。しかし、それを埋めるように末包がケガから回復して5月以降好調。最近では4番小園、1番秋山、2番野間が好調であるが、相手ピッチャーがエース級の場合に完封されることが多い。カープ先発ピッチャーは3点以内のQSをしても、

負投手が多い。

この為、最少失点にて守備力で勝っていくには守備力に加え、今年打撃成長著しい矢野の活躍に期待します。矢野、菊池の2遊間守備力は既にNPBトップレベルです。

またカープの若手には、将来有望な選手が多く、新井監督の若手抜擢による育成方針に選手がどこまでうまく応えていけるかに掛かっていると思います。



Q6：今シーズン後半戦のカープにはどんなことを期待しますか。

交流戦を勝ち越した現在、後半戦は打撃陣の活躍に掛かっていると思います。坂倉の打撃活躍が必要です。捕手守備による負担が大きいのなら、1塁について打撃に専念。打率0.300、ホームラン20本以上の活躍を期待します。捕手陣は、最近好リードの石原、会澤にて賄う。有望な若手もあり。また、ベテラン勢の疲れが出る暑い8月に将来性の高い田村に再度1軍で勝負し、レギュラー獲得、活躍を期待します。支配下登録された、佐藤の打力にも期待します。

ピッチャー陣が体力的に苦しくなる8月には、ドラフト1位常広の活躍、中継ぎ益田、先発玉村に期待します。最終的には床田、森下、アドゥワ、大瀬良、九里で50勝以上。マツダスタジアムでクライマックス、日本シリーズを観たい！
新井カープ優勝、日本一へ突き進め！

Q7：今後のビジョンについて教えてください。

広島経営者は、カープファンが多く、カープの関連話が経営者とアイスブレイクとして活用でき、経営者との対話に役立っています。広島スポーツとともに、広島を盛り上げ、上記した特徴である管理会計、AI等による効率化等のコンサルティングにより中小企業によりそい、業績向上サポートをし、広島中小企業躍進に役立てていければと思います。



New Member

新 入 会 員 紹 介

(50音順)

紹介
7名

正 会 員

嘉本 雄太 (かもと ゆうた)



この度、広島県中小企業診断協会に入会しました嘉本 雄太と申します。

令和4年度の試験に合格し、令和5年5月に診断士登録しました。広島市出身・在住で、現在は地域の商社に勤めています。

新卒入社以来、経理業務に従事し、一般的な経理業務や決算業務、外部調査対応や合併業務等、幅広く様々な経理業務に携わってきました。近年の経理は、インボイス制度や電帳法改正等で過渡期にあり、これを機にデジタル化やペーパーレス化に向けたシステム導入や業務改善を実施しています。

中小企業診断士の資格取得を目指したきっかけは、勉強内容が面白そうだったからです。また、日々の業務に生きることが実感でき、最後まで興味を持って資格勉強をやり遂げる事が出来ました。

今後、診断士協会での活動等を通じて経験を積み、会社の成長に貢献して行きたいと考えています。また、生まれ育った広島という土地が大好きなので、この資格を活かし、地域の活性化にも貢献したいと考えています。(特にサンフレッチェ広島が大好きです。) ご指導、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。

正 会 員

川口 明彦 (かわぐち あきひこ)



皆さん、はじめまして。川口 明彦と申します。令和6年6月に診断協会に入会いたしました。まずは、皆様にご挨拶申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

私は令和3年度に中小企業診断士の1次試験に合格しました。その後、令和4年4月から令和6年3月まで、兵庫県立大学大学院の診断士養成課程に在籍し、経営管理修士(MBA)を取得

しました。この期間中に、実践的な知識とスキルを深く学びました。そして、令和6年5月1日付で中小企業診断士として正式に登録されました。

私の職歴について少しお話をさせていただきます。ビールメーカーに33年間勤務しておりました。その間、営業職や営業企画職として幅広い業務に携わってきました。具体的には、戦略立案や戦術立案、広報活動、お客様対応、料飲店営業、法人営業など、多岐にわたる業務を経験しまし

た。これらの経験を通じて、企業運営の様々な側面について深い理解を得ることができました。

令和元年、私は56歳で早期退職し、地元福山にリターンし、令和4年から「川口コンサルティングオフィス」という屋号で個人事業主として活動を開始しました。この新しいステージで、私の長年の営業経験を地域の企業のために役立てたいと考えております。

私が中小企業診断士を目指した理由は、長年の営業経験を活かし、中小企業の経営支援に貢献したいという強い思いからです。在籍していた企業で培った知識と経験を地域の企業の成長に活用し、具体的かつ実践的な支援を提供することを目指しています。

具体的な業務内容としては、経営支援（診断・支援）、補助金申請書作成支援やセミナー講師な

どを想定しています。これらの業務において、引き合いがあれば全てお受けする覚悟です。特に、経営戦略の立案や営業戦略の策定、マーケティング活動の支援などに強みがあると自己分析しております。

私は年齢を重ねても常に学び続けることを大切にしています。新しい知識やスキルを習得し、常に自分をアップデートすることで、より効果的な支援ができると考えています。皆様からのご指導やご鞭撻をいただきながら、さらに成長していきたいと考えています。

最後になりますが、会員の皆様とお会いできることを楽しみにしております。お互いに学び合い、成長し合える関係を築いていければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

正会員

土居 誠（どい まこと）



2024年5月から、正会員に加入した土居 誠と申します。

資格取得を目指した経緯として、所属する金融機関で経営コンサルを行っていた

のですが、経営理論などの知識を習得できれば、経営者の方により有益な助言ができると考えたのがきっかけでした。

私は2007年に入社し、広島県内の店舗に配属され、法人営業を中心にファイナンス支援に従事しました。2015年10月から本部に配属され、半導体・工作機械・再生可能エネルギー業界などに関する専門チームとして活動し、社内企画、業界調査や企業の経営支援などに取り組みました。

2020年7月からは企業経営コンサルチームに配属され、業種を問わず事業分析や計画策定を行いました。社内研修担当も兼務し、若年層から中堅層を対象とした事業分析に関する講師役も務めていました。

そして、この4月からリサーチ部門に配属となり、広島の基幹産業である自動車産業を調査しております。

変化の激しい外部環境下において、企業の課題は無数に存在し増加する一方なので、1人の力だけでなく皆様と密に連携しながら、経営者の悩みを一つでも多く解決できるように取り組んでいきたいと思っております。

今後とも何卒、宜しくお願い致します。

正会員 丸岡 良博（まるおか よしひろ）



はじめまして、丸岡 良博と申します。2022 年度試験合格後 2023 年度に登録し 2024 年 6 月に広島県中小企業診断協会に入会しました。

出身地は福岡市で、就職後に山口県・東京都・福島県・福岡県・広島県と勤務地を経験してきました。現在、広島県での生活は 7 年目、カープファン歴も 7 年になります。

職業は、主に鋳鉄製の土木資材を製造販売するメーカーで、営業部門にて一般職・管理職を経験し 31 年になります。勤務地経験も多いことから、これまで多数のお客様と接する機会に恵まれました。社内のみならず社外の方々からも多くのことを学び、営業スキルを培ってきました。この 10 年は新しい事業領域への進出に注力し、市場創りに勤しんでいます。

中小企業診断士を目指したきっかけは、営業スキル以外の知識・スキルを習得したいと思っていた中、コロナによる巣ごもり時間が学習への取組を後押しする形になりました。資格取得のための学習ではありましたが、習得した知識は日々の業務における自身の成長にも大いに効果的であり、学ぶことの重要性を認識しました。

中小企業診断士として登録した今は、勤務先から副業も認められたため、現職を継続しながら経営診断を実践し、経験を重ね、お悩みを抱えておられる経営者をサポートできる『頼られる診断士』に成長したいと思います。

まだまだ発展途上であり、諸先輩方にご指導ご鞭撻をいただきながら、挑戦を続けたいと思います。よろしくお願いいたします。

正会員 宮坂 夕貴（みやさか ゆうき）



皆様、はじめまして！令和 6 年 5 月に中小企業診断士に登録し、同月、広島県中小企業診断協会へ入会させていただきました宮坂 夕貴と申します。

中小企業診断士を目指したきっかけは、第 2 子の育休とコロナでの外出自粛が重なり、自分を見つめ直す時間が増えたことで「この機会に自分のスキルアップに繋がり、なおかつ人の役に立てるような勉強をしたい！」と思い立ち、中小企業診断士という素晴らしい資格に巡り会いました。母の実家が安芸高田市の郊外にあり、「素晴らしい資源で溢れているこの地域を、もっとたくさんの方に知ってもらえたらいいなあ」と常々思っていたことも、中小企業診断士を志

した理由の一つです。

私自身は広島市で生まれ育ち、大学卒業後はブライダル業界で勤務。その後、ワーキングホリデーの制度を利用し、オーストラリアで 2 年、台湾で 1 年過ごして、また広島へ戻り、縁があって 8 年ほど派遣会社のコーディネーターとして従事いたしました。求職者さんと求人との橋渡しをする役割を担い、求職者さんの面談や求人内容の説明をメインに行っていました。採用人材ペルソナ設定や求人票作成を行ってきた経験が、現在、マーケティング施策を提案する上で大変役立っています。

現在はワンパク盛りの 2 児の育児に奮闘しながら、経営診断や人材採用・SNS 構築などの支援をさせていただいております。今後は、微力ではありますが、以前から興味があった地域創生・活

性化に貢献しつつ、色々なお仕事に挑戦していきたいと考えています。

至らぬ点が多々あるかとは存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

正会員

森岡 進太郎（もりおか しんたろう）



こんにちは！森岡 進太郎と申します。この度協会に再入会させていただきました。2011年に診断士資格を取得し、企業内診断士として活動しておりましたが、

2015年に勤務先での海外出向をきっかけに、長期間診断士の活動からは離れておりました。この度思いが再燃し、必死でポイントを獲得したうえで、資格の再開を果たし、協会に入会させていただいています。専門家登録も行い、今後は幅広い診断士の活動にチャレンジしていきたいと思っています。

勤務先は県内の自動車メーカーで、主に商品の収益企画・管理の業務に携わってきましたが、昨秋からは職場を東広島市福富町に移し、里山

の価値や魅力を発見・発信し、地域活性化を図る活動に参画しています。毎日森に行き、草花や木を観察したり、何か使えないか実験したりする毎日です。ご興味のある方はこちらのウェブサイトをぜひご覧ください。

<https://mirai-satoyama.com/>

趣味は山登りで、週末特に予定がない時はだいたい山に登っております。これまでは主に広島県近郊の山を日帰りに登ってきましたが、最近は何れも九州や四国まで遠征に行くようになりました。目下の目標は屋久島の宮之浦岳のテント泊登山に行くことで、日々訓練し、新しい道具を買いそろえているところです。もし同様の趣味をお持ちの方いらっしゃいましたらぜひお声掛けください。今後ともよろしくお願いいたします。

正会員

山本 浩章（やまもと ひろふみ）



山本 浩章と申します。福山市の大学卒業後、経営コンサルタント事務所・製造業・税理士法人勤務を経て、2017年3月に中小企業診断士登録を行い、独立開業致しました。

独立開業後は、岡山県商工会連合会様・岡山県産業振興財団様・岡山県信用保証協会様・中小企業活性化協議会様・金融機関様等とお仕事をさせて頂いております。

業務内容は、経営革新計画申請支援・経営改善計画作成支援・補助金申請支援・クラウドファンディング企画支援を中心に業務を行っています。

大学時代を福山市で過ごしたため、備後地域はとても愛着のある地域です。

お世話になった備後地域の発展に貢献したいと考え、2024年4月から広島県中小企業診断協会に入会させていただきました。

アフターコロナ・物価高騰等の厳しい事業環境下において、経営改善等に向けた取組みが必要な多くの中小企業に対して経営支援を行い、微力ながら備後地域の発展に貢献したいと考えております。

ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い致します。

みんなで地元応援！



おすすめのお店・企業紹介 ～支援の現場より～ vol.5

広島市中区／写真館

株式会社 大進創寫館
振袖ブランド「FURICO」

中小企業診断士 田村 雅紀

環境変化に柔軟に対応し、ブランディングを進めることで 新しい客層を取り込んでいる企業です

今回は大進グループのフォトスタジオ「大進創寫館」が、広島の新成人となるZ世代をターゲットに立ち上げた、新たな振袖ブランド「FURICO」（フリコ）について紹介いたします。



パルコ新館 6F の店舗イメージ

「FURICO」は2024年3月、広島 PARCO 新館6階にオープン。創業30周年を迎える大進創寫館が広島の新成人となるZ世代をターゲットにし、伝統的な振袖のデザインや技術をベースに、ストリートな雰囲気やモードな雰囲気といった新しい要素を取り入れたブランド。新しい振袖ブランドはどのようにして誕生したのか？ また、Z世代を取り込むための取組として、日本初展開となる韓国アクセサリーメーカーとの取組を開始したいきさつなどを今回は紹介していきます。

なじみのなかった若年層をパルコで取り込む

2022年4月の成人年齢引き下げは振袖市場に

大きな変化をもたらしました。成人年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、成人式を18歳と20歳で行う地域が混在。この状況は、振袖の販売とレンタルを行っている大進創寫館にも大きな影響を与えました。

「振袖」という文化がコロナ等で弱まってきている最中に、成人年齢引き下げにより、振袖市場での顧客獲得競争はさらに激化。今までよりもさらに若い客層をターゲットにする必要が出てきた中で、大進創寫館はZ世代を中心に若者が多く集まる広島パルコという商業施設での出店を決意しました。今までの大進創寫館には、なじみのなかった若年層をまずはパルコで取り込み、将来は大進創寫館を利用してもらえるようシナジー効果を狙った出店でした。

従来の振袖とは一線を画す商品で差別化

新しい顧客層を取り込むために行ったのが、新しい要素を取り入れた振袖を展開し、他社との差別化を図ることでした。ブランドポジショニングを明確にし、従来の振袖とは一線を画す、モードやストリートな振袖だったり、ヴィンテージアイテムを使ったレトロな雰囲気の振袖など、尖った商品を展開することでFURICOの独特な世界観を表現。オリジナル商品と定番商品の両方があることで、広島のみならず、他県など遠

方からの新しい客層を掴むことにも成功しています。



グラマラスモード・レトロノスタルジック・トラディショナル・ライトジャパニーズの4つの振袖スタイルを展開
(写真はグラマラスモード)

アクセサリィ店やまつげパーマ店を併設

また、Z世代の呼び込みや買い回りを狙うために、韓国で人気のアクセサリィショップ「nyu nyu」を日本で初めて展開させたり、まつげパーマ専門店「COCO-LACH」も同時展開することで学校帰りの高校生や大学生の集客につなげることに成功しています。



韓国より直接仕入れた多数のアイテム

インスタ広告やTikTokで情報をリーチ

商業施設に出店しているからといって、集客を商業施設まかせにするのではなく、インスタ広告や新たに始めたTikTokなど、ターゲットに合わせたマーケティング手法も実施することで、新しいものやトレンドに敏感な若者達へ情報を届けることができます。

実際にオープン後はまつ毛パーマに来られた高校生が、そのまま振袖の予約をするなど狙った通りの相乗効果が出ていて、オープン後の売上は予算比 200%と非常に好調なスタートを切っています。

ファンマーケティング等の企画も推進中

今後は、Z世代が自分で着たい振袖を作れるようにしていくなどファンマーケティングの実施も計画していたり、振袖レンタルのECサイトオープンを予定しているなど、大進創寫館のさらなる発展が期待されます。

会社名 株式会社 大進創寫館
 代表者 山本 茂樹
 業種 写真館
 設立 1994年4月
 所在地 広島市中区鉄炮町1-15
 URL (本社) <https://so-sha.co.jp/>

FURICO.
 URL www.furisode-furico.com/shop/
 インスタグラム [@furico_furisode_official](https://www.instagram.com/furico_furisode_official)
 TikTok [@furico327](https://www.tiktok.com/@furico327)

令和6年

グループ研究会 研究成果発表会



2024年9月7日(土) 13:30~16:10

広島県情報プラザ 2F 第一研修室 (広島市中区千田町3丁目7番47号)

■ WEB (Zoom) 同時配信

■ 終了後に懇親会 (有料) を開催予定

リモート参加希望者には、
後日メールにて詳細をご連絡いたします。

- 予定は変更する場合があります。最新情報は広島県中小企業診断協会ホームページで随時公表いたします。
- セミナー当日に発熱・咳等の症状が見られる場合は、会場への出席をご遠慮ください。
- 受講者配布用資料と映写資料は異なる場合があります。予めご了承ください。

13:30~ 開会挨拶 (会長)

———【成果発表】———

13:40~ 海外展開支援研究会

14:25~ カーブを科学する研究会

15:05~ (休憩)

15:15~ 建設業研究会

15:55~ 総括質疑

16:05~ 閉会挨拶 (グループ研究委員長)

17:30~ 懇親会※ (場所・会費未定)

※ 会費は、4~6千円程度を予定しています。申込み締切日後のキャンセルは、会費をいただきますのでご了承ください。

【成果発表】(40分/研究会)

海外展開支援研究会 平見 尚隆 (リモート)

国際化の視点から見た日本の伝統産業への支援について

中小企業のなかでも、一部では存続が危ぶまれている、地方に根付いてきた日本の伝統産業を如何にサポートすべきかを国際化の視点から議論を続けています。この発表では、この議論の一端を紹介させていただきます。

カーブを科学する
研究会

伊藤 圭介
綿谷 伸二
益野 実

カーブにおける知的資産分析

知的資産経営研究会とのコラボレーションにより、カーブの知的資産の分析結果を報告します。
カーブの価値ストーリーをもとに、カーブの持ち味や顧客提供価値などをお伝えします。

建設業研究会 濱上 敬介

中小建設会社への経営支援の重要ポイント

技術者作業員不足・建設コスト高騰・IT導入等、中小建設会社への支援ニーズは高まっています。建設業支援にあまり縁のなかった方々を対象に、建設業の構造・中核的課題・特に重要な積算見積業務等を解説します。

ご参加を希望される方は、
フォームよりお申し込みください。

懇親会への参加も同フォームより
お申し込みください。



<https://forms.gle/bRCELfHoEpUNniCaA>

【申し込み締切】 8月23日(金) 16:00まで

グループ研究会の詳細は協会ホームページで ⇒ <https://www.hiro-smeca.jp/>

中小企業経営者・中小企業支援機関ご担当者さまへ

経営改善・資金繰り改善・補助金活用・
販売促進・生産性改善・事業承継・IT/DX

経営のお困りごとは 中小企業診断士へ

このままではいけない…
と思っている方
一度ご相談ください

私達は中小企業に役立つ各種専門分野を
日々研究し続けています！

ISO 研究会

建設業 研究会

資金繰り表 研究会

原価管理 研究会

事業承継 研究会

企業再生実践 研究会

「グループ研究会」へのご依頼・ご相談承り中！

経営コンサルタント唯一の国家資格「中小企業診断士」が、研究分野の専門性を活かした、経営診断・助言・セミナー・研修会開催などを実施します。
ホームページから、お気軽にお問い合わせください。

当協会のグループ研究会では、研究分野の専門性を活かした経営の診断や助言をはじめ、セミナー・研修会等を随時実施しております。
協会ホームページ上にグループ研究会へ直接連絡可能な「ご依頼・ご相談窓口」を設置しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



広島県中小企業診断協会ホームページ www.hiro-smeca.jp



各研究会の研究内容・支援内容についてはこちらをクリック！

(注) 報酬その他要件は、研究会「ご依頼・ご相談窓口」へ直接メールでお問合せください。なお、ご依頼・ご相談にかかる一切の行為について、一般社団法人広島県中小企業診断協会は、何ら責任を負うものではありませんので予めご了承ください。

リスクマネジメント 研究会

代表 三村 雅彦

「何か始めたいけど、あまり拘束されたくないし…、でも勉強はしっかりしたい」という方、一度見学に来てください。私は3つの都県協会で合計5つの研究会に所属していますが、ここが一番面白いです。その理由を3つ書きます。

1

メンバーは約10名。診断士を中心としつつも、行政機関、弁護士、損害保険会社メンバーなどバラエティに富んでいて、完全な異業種交流会です。

2

研究会が主体となって、2022年から広島市でサイバーセキュリティやBCPに関するセミナーを4回開催した実績があります。

3

診断士中心の研究会の名前があってこそ、一体感が生まれます。

研究会を設立し4年目となりました。広島の中小企業みなさんに様々な「リスク」を伝え、その対応方法を一緒に考えていくことを目的としています。今年度も対面でのセミナーを企画しています。一緒に汗をかいてくれる方、お待ちしております。



企業内診断士 診断能力向上研究会

研究会広報担当 伊垣 洋介

企業内診断士診断能力向上研究会（企業内診断士の会）では、

- ・ 企業内診断士の企業診断等にかかる能力の向上（研鑽）
- ・ 中小企業経営の改善・革新の支援（貢献）
- ・ 診断士の活動に必要なネットワーク作り（連携）



を目的として、活動に取り組んでいる。

会員数については、14年目を迎える今年度は、40名（5月末時点）となっている。

今年度の活動計画は、毎月第3土曜日に月例会合を開催し、会員それぞれがグループ研究、個人研究を行い、発表を行っていく。今年度はオンライン＋リアルハイブリッド開催を数回実施する方針であり、対面による交流を増やしていく。また、会員からの紹介や協会本部の「企業内診断士におけるプロボノ活動の支援に向けた実証実験事業」等による実務診断にも積極的に取り組んでいく（協会本部の実証実験事業は3件実施済である）。

なお、7月と12月には、当研究会会員以外の方にもご参加いただけるリアル形式でのセミナー・交流会を計画している。



総務委員会

総務委員長 田村 善光



1. 活動方針と委員会体制

総務委員会は、当協会の円滑な運営への寄与を活動方針とする。委員長に田村 善光、副委員長に渡辺 敏明、委員に中尾 友和、松浦 和夫、廣岡 雅史、濱上 敬介、岩崎 美友紀、小野 信雄の8名体制で活動する。

2. 活動計画

総務委員会では、以下の活動を行う。

- | | |
|--|--|
| <p>(1) 総会及び理事会の企画・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常総会（場所：メルパルク広島）
5月18日ハイブリッド開催実施 ・ 理事会
4月17日リモート開催実施
8月23日開催予定
11月、2月開催予定 <p>(2) 広島自由業団体連絡協議会</p> <p>士業12団体で、よろず相談会の打ち合わせ、士業間の情報交換会を実施。</p> <p>第1回 7月23日（予定）
第2回 未定</p> <p>(3) よろず相談会</p> <p>11月12日予定
場所は広島市役所講堂で、士業12団体が参加予定。</p> | <p>(4) 無料ビジネス相談会</p> <p>広島市立中央図書館、福山市中央図書館で月1回開催。各図書館に事前申し込みのあった相談者に対して当協会員が対応。</p> <p>(5) 中国ブロック連絡会議・勉強会</p> <p>10月8日（火）予定
広島県で開催。本部と中国5県の診断士会との交流を図る。</p> <p>(6) 創業相談会</p> <p>日本政策金融公庫及び当協会を含む8団体による創業支援無料相談会であるが、今年度の実施は未定。</p> <p>(7) 会員交流会</p> <p>当協会の会員同士の親睦を図ることを目的としており、会員交流会日は未定である</p> <p>(8) その他総務事項の推進</p> |
|--|--|

広報委員会

広報委員長 古川 佐千夫

1. 委員会メンバー

令和6年度の広報委員会は、委員長に古川 佐千夫、副委員長に本庄 恭子、委員に青谷 智晃、伊垣 洋介、三本木 至宏、田村 雅紀、原 信之介の合計7名の体制で遂行する。



2. 活動内容

広報委員会は、中小企業診断士の認知度向上および中小企業診断士の能力向上のために県協会が行う活動を支援することを目的とし、次の活動を行う計画である。

(1) 協会広報誌「診断ひろしま」の発行

診断ひろしまでは、協会・各委員会・研究会の計画や活動の紹介、スキルアップメニュー（診断助言事例、実務従事報告等）や診断士コミュニティ（随筆見聞録、書籍出版紹介、診断士リレー訪問記、新人会員紹介、企業紹介）等を掲載する。

本年度は7月（本号）と1月の2回の発行を計画している。



(2) 広報活動の推進

協会の活動および取り組みについて、会員や各関係機関等に広く周知を図るため、広報活動を行う。具体的な活動内容については今後の委員会にて検討を行い決定していく。

試験委員会

試験委員長 木村 義洋

試験委員会は、後述する委員会メンバーが活動方針に基づき、広島地区で実施する中小企業診断士第一次試験、第二次試験（筆記・口述）の計画の立案、運営業務を協会事務局と協力しながら実施する。



1. 委員会メンバー

委員長	木村 義洋	委員	岩井屋 忠昭、植田 昌子、馬上 元彦、梅木 雄司、藤原 貴徳、牧野 恵美子、渡部 宗広
副委員長	松浦 由浩		

2. 活動方針

(1) 中小企業診断士試験受験者が試験会場で本来の実力を発揮できるようにするため、『安心・安全・快適な受験環境づくり』と『不正防止の徹底』に全力で取り組む。

(2) 広島県中小企業診断協会が質の高い試験事業を継続して実施できるようにするため、『試験業務の改善』と『試験監督者・試験運営員の育成』に継続して取り組む。

3. 令和6年度中小企業診断士試験日程

(1) 第一次試験	(2) 第二次試験（筆記）	(3) 第二次試験（口述）
令和6年8月3日・4日（土・日）	令和6年10月27日（日）	令和7年1月26日（日）

4. 活動内容

昨年度も多くの協会会員の皆様にご協力いただき、中小企業診断士試験の運営を無事に終えることができた。心より御礼申し上げます。

年2回（6月、9月）の試験委員会では、委員会メンバーの間で試験実施の注意事項の確認、皆様からいただいたご意見、ご感想の共有等を行っている。また、kintoneを活用し、協会事務局や委員会メンバーの間で試験業務の報連相を行っている。

試験委員会では今年度も引き続き、中小企業診断士試験受験者のため、また、広島県中小企業診断協会のため、試験業務の確実な実施と更なる改善に取り組むこととしている。さらには、試験事業を通じて、広島県中小企業診断協会と会員とのつながりをより強くしていきたいと考えている。新入会員・協会との接点の少ない会員を含め、皆様には、中小企業診断士試験の運営に積極的かつ前向きなご協力をお願いしたい。

診断実務委員会

診断実務委員長 落野 洋一

今年度の診断実務委員会は以下の内容で活動する。

- ① 中小企業診断士の登録要件である実務補習
- ② 登録更新に必要な実務従事ポイント取得のための実務従事

今年度も実務補習・実務従事の指導員登録者の増員・育成を重点事項として取り組んで行く。



委員長	落野 洋一	委員	野崎 義博、佐伯 昌之
-----	-------	----	-------------

令和6年度中小企業診断士 実務補習

1. 夏季コース（5日間コースのみ）

RCC文化センター、まなびの館ローズコム等

第1回：令和6年7月5日（金）～7月16日（火）

第2回：令和6年9月13日（金）～9月24日（火）

2. 冬季コース（15日間コース・8日間コース・5日間コース）

RCC文化センター他

第1回：令和7年2月21日（金）～3月13日（月）

第2回：令和7年3月7日（金）～3月17日（月）

令和6年度中小企業診断士 実務従事

10月、及び11月の2コース実施を予定

更新研修委員会

更新研修委員長 金田 賢二

更新研修研究委員会は、中小企業診断士の更新要件のひとつである「新しい知識の補充に関する要件」となる研修を実施している。

令和6年度も参加いただく皆様に知見をお届けできる研修を、3回開催する。



第1回

第1回は、福山商工会議所にて集合研修形式を実施する。2時限目、3時限目には「中小企業の事業承継支援」をテーマとし、千葉県中小企業診断士協会研修部理事、同協会事業承継研究会幹事の魚路 剛司先生にご講義をいただく。

第2回

第2回は、リモート研修形式で実施する。2時限目、3時限目には「中小企業のイノベーション活動支援」をテーマとし、島根県中小企業診断協会理事の渡部 剛史先生にご講義をいただく。

第3回

第3回は、広島県情報プラザにて集合研修形式を実施する。2時限目、3時限目には「中小企業の伴走支援」をテーマに、株式会社エフティーエス代表取締役の寺岡 雅頭先生にご講義をいただく。

また、第1回から第3回までの1時限目は、中国経済産業局産業部中小企業課より「新しい中小企業施策について」をテーマとしてご講義をいただく予定である。

会員研修委員会

会員研修委員長 上垣内 邦典



1. 委員会メンバー

令和6年度の会員研修委員会は、下記の計5名体制で遂行する。

委員長	上垣内 邦典	委員	大島 季子、藤川 裕志、 山口 卓、伊藤 大介
-----	--------	----	----------------------------

2. 活動内容

会員研修委員会は、協会員診断士のスキルアップを目的として、会員研修を企画・開催する。
会員研修および委員会は、参加者のスケジュール自由度の確保を重視して、本年度も基本的に Zoom を用いたリモート形式で行うこととする。

3. 本年度の会員研修の予定

本年度は、3回の会員研修を予定している。研修内容は、「企業内診断士向け」を2回、「独立診断士向け」を1回という配分で実施する予定である。

第1回会員研修	令和6年8月24日 ※経営再生支援をテーマとして、 会場型研修として行う予定
第2回会員研修	令和6年10～11月頃
第3回会員研修	令和7年2～3月頃

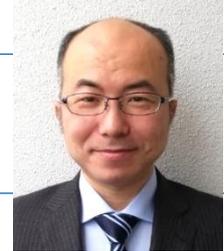
また、各回の会員研修に先立って会員研修委員会を開催する予定である。

グループ研究委員会

グループ研究委員長 岩田 潤一

1. 新規研究会の設立促進

新規研究会の設立に向け、研究会メンバー募集等の支援を行う。



2. 研究会活動のPR

研究会活動PR小冊子の掲載情報を更新し、協会HPで公開するとともに、様々な機会を捉えPRを実施する。

3. 研究会活動支援

①グループ研究会連絡会議

研究会相互の連携を図るとともに、研究会活動活性化に向けた諸課題を議論するため、各研究会代表による連絡会議を開催する（令和7年2月2日（日）開催予定）。

②調査研究活動補助費の支給

研究会活動の活性化を図るとともに、新規研究会設立意欲を高めるため、グループ研究会の活動にかかる費用の一部を補助する。

4. 研究活動成果の発信

会員相互の研鑽の場を提供するとともに、研究会参加を契機とした協会への新規入会を促進するため、研究テーマに関する発表会を開催する。

研究活動成果発表会 開催概要

開催日	令和6年9月7日（土）
場所	広島県情報プラザ 第一研修室 （WEB同時配信）
発表研究会	「海外展開支援研究会」 「カーブを科学する研究会」 「建設業研究会」

令和6年度 年間主要行事日程

日 付	行 事
4月17日(水)	第1回理事会
5月18日(土)	令和6年度総会
7月5日(金)～7月16日(火)	実務補習(夏季7月コース)
8月3日(土)4日(日)	第1次試験
8月23日(金)	第2回理事会
8月24日(土)	第1回会員研修
8月31日(土)	第1回理論政策更新研修(福山会場)
9月7日(土)	グループ研究会 研究成果発表会
9月13日(金)～9月24日(火)	実務補習(夏季9月コース)
10月5日(土)	第2回理論政策更新研修(リモート開催)
10月27日(日)	第2次試験(筆記)
10月及び11月	実務従事2コース
11月 未定	第3回理事会
11月30日(土)	第3回理論政策更新研修(広島会場)
未定	第2回会員研修
1月26日(日)	第2次試験(口述)
2月 未定	第4回理事会
2月2日(金)～3月3日(月)	実務補習 (冬季5日間コース、8日間コース、15日間コース)
未定	第3回会員研修
3月7日(金)～3月17日(月)	実務補習(冬季15日間コース)

最新情報は広島県中小企業診断協会ホームページ「協会について>活動計画」でご確認ください。

事務局からのお知らせ

1. キントーンご利用のお願い

令和 5 年度からキントーンを通じて理論政策更新研修の案内など会員向けの情報発信しております。

キントーンから案内が届いていない方、使い方や ID、パスワードがご不明の方は事務局まで電話やメールでご連絡ください。



2. コンプライアンス研修受講のご案内（正会員の方へ）

正会員の方は本部マイページよりコンプライアンス研修を受講してください。受講の仕方が不明な方は、県協会ホームページのコンプライアンスページを参照されるか事務局までお問い合わせください。

中小企業診断士にはコンプライアンスの遵守が強く求められています。未受講の方は必ず受講してください。また事業受託の必須条件としております。

3. 実務従事のご案内

下記日程で実務従事研修を開催いたします。受講後希望の方は事務局までご連絡ください。詳しくは 8 月 20 日頃キントーンで案内します。

・ 10 月コース

10/5(土)・6(日)・12(土)・13(日)・19(土)・27(日) 各日とも 9:00~17:00

・ 11 月コース

日程調整中（各日とも 9:00~17:00）

4. 専門家登録の案内および情報更新のお願い（正会員の方へ）

広島県中小企業診断協会では各支援機関より様々な中小企業支援事業を受託しております。受託した案件については、正会員の中で専門家登録をいただいている方に、随時依頼または公募を行っております。

まだ専門家登録をされていない方は是非と登録していただき、大いに活躍して頂きますようお願いいたします。

また、すでに登録されている専門家の方は登録内容に変更のあった場合（経験年数の更新を含む）には、随時更新していただきますようお願いいたします。

登録手順につきましては、事務局（jsmeca34@sunny.ocn.ne.jp）まで直接ご請求ください。

広報委員会からのお知らせ

会員の皆様からの原稿を募集しています！

診断ひろしまは、年2回（冬夏）発行、毎号500～600部印刷されており、会員約220名と、その他関係機関、研修・セミナー等で会員外の方にも配布しています。支援先企業や自社・所属企業をPRする場としてもご活用ください。



支援先
等の
企業紹介

企業支援
の
取組事例

補助金
活用情報

業界動向

著書の
紹介

おすすめのお店・商品・メニュー、
診断士川柳、趣味紹介、エッセイ、
地元のおすすめスポット・イベント情報
のような楽しいコンテンツも募集しています

「診断ひろしま」は会員同士の交流や発信の良い場になっていくよう、
充実させていきたいと思っています。
ぜひ、皆様からの原稿やリクエスト・ご意見をお待ちしております。

ご連絡先

広島県中小企業診断協会
E-mail: jsmeca34@sunny.ocn.ne.jp



編集後記

「診断ひろしま 91 号」発行にあたりご協力下さった皆様に心よりお礼申し上げます。本号は新年度号として 5 月に行われた通常総会の報告、各委員会の年度計画報告等を中心に編集を行いました。

表紙写真は今年 2 月 1 日に新たに開場したサッカースタジアム「エディオンピースウイング広島」で小寺副会長にご提供いただきました。地元 J リーグチーム「サンフレッチェ広島」や WE リーグチーム「サンフレッチェ広島レジーナ」のホームスタジアムとなっています。また、先月 6 月 11 日には 2026 年北中米ワールドカップアジア 2 次予選対シリア戦が行われ、いつもは紫色のスタジアムがサムライブルーに染められました。

現在広島市では再開発が活発化しており「エディオンピースウイング広島」に続き来年春には新しい広島駅ビルが開業します。その他にも広島八丁堀 3・7 地区市街地再開発や紙屋町・八丁堀地区再開発、紙屋町サンモール一帯再開発等、これからも大規模な再開発が続き、より魅力的な街並みに変化しようとしています。

一方で報道等でもご存知のように広島県の人口流出は 3 年連続で全国最多となっています。転出超過人口は 11,409 人で 2 位の愛知県（7,408 人）を大きく引き離し、全国随一 10,000 人超の県となっています。中身をみると 20 歳代の転出超過が顕著でその理由の一番目が「就職したい企業が県内にない」というものです。まさに私達中小企業診断士に突きつけられた課題です。

いくら魅力的な街並みができようと、その中でやりがいのある仕事に携わり生き生きと生活を送れる環境がなければ、そこに住まう人々の幸せは実現できません。

私達中小企業診断士は単に企業診断を実施する存在にとどまらず活力のある地域経済の実現のため企業を再生し新たな雇用を創出する解決施策を提案実現させる存在とならなければなりません。日々変化する経営環境の中で苦闘する中小企業経営者を導く存在となるため、今一層の自己研鑽をして参りましょう。

本年度も皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。

広報委員長 古川 佐千夫

一般社団法人広島県中小企業診断協会会報 第 91 号

発行：令和 6 年 7 月 24 日（年 2 回発行）

発行人：会長 井上 明雄 編集人：広報委員長 古川 佐千夫

会員数

238 名

令和 6 年 7 月時点
正会員・準会員・特別会員
含む。休会員は含まない

記事やお知らせ募集中！お気軽にご連絡ください



一般社団法人 広島県中小企業診断協会

Hiroshima Small and Medium Enterprise Management Consultant Association

〒730-0052 広島市中区千田町 3 丁目 7 番 47 号 広島県情報プラザ 3 階

TEL：(082) 569-7338 FAX：(082) 569-7336

E-mail: jsmecca34@sunny.ocn.ne.jp

www.hiro-smeca.jp

「診断ひろしま」の
バックナンバー公開中

